の弥栄を願



5月号

《発行所》

大和教団 仙台市青葉区錦町2-4-24 大和教団本庁 話(代)022-261-2525番

振 替 仙台 02220-3-45512 発行人 大和教団 定価50円



栄を意味してお で と世界の共存共

紋

様

から決して自

分

を

そして教団職員による寸

かたどったもの 国家の隆昌

八咫鏡と太陽を

放 种

してはい

けな

()

生きることである。

(大和神典 第一之三九二言)

1)

つも神様と一緒に

ことたま

たいわ 大和 0

日と特別神事執行す。 除する。二十八日、三十日、 査すべく右大股部の皮膚の一 四月一日、月始祭後に特別講習会 三十一

弟の市議会議員の佐々木心先生、 えさせて頂いた。先生の想い出話し 様も座してしばしの御霊祭りをお仕 を開く。二日は特別神事、三日は第 である県議会議員の佐々木幸士先生 祈らせ頂いた。ご子息で本教相談役 故佐々木両道先生と奥様のご霊前を 一期神法教傳会結了の指導す。 四日は永年本教相談役をなされた 奥

にとり有り難き一日となったようで 聞く。長時間ではあったが、信仰者 表にては感動の発表であったを漏れ を嗣親斎主にて斎行す。 神事、九日は神変神社年祭並開教祭 ドッグにての検査をす。八日、 もらうべくである。 人ではの想いもあり同行させ知って田中君と鏡君に同行さす。田中君一 六日は特別神事執行。 五日は皮膚切除の経過を見るべく 八日、特別七日は人間 信仰体験発

とトイレに通うは少々厄介であった。 腸の洗浄剤を飲む。それほど飲み辛 をする。前の日より食事制限、当日 査となる。何とも表現し難き状では検査は肛門より内視鏡をもっての検 きものではなかったが、七日、八日 は腸をきれいにすべく二時間かけて 十二日は人間ドックにて大腸検査

皮膚病にて病理検 一部を切



ある。ご神導、

ご神助を乞い祈むも

になる。 て五時頃より腸の洗浄剤を飲むこと 様にお粥食。 詳細を指導す。二十六日は、 定期健診は五月に先送りし、 泊入院の為の準備をした。 朝は四時起床。 内科の 潔斎に 前回同 明日の

関係者の内々ではあるが、 されておられる幻創さんの勇壮なる 団にての赤飯を始め、飲食を盛大に かにとの希いではある。篤信者の業 者さんに願っての美味なる弁当と教 コロナにてのうっとうしい状を晴や せてもらうことにした。これまでの -九日は本祭を迎える。今年は教団 二十八日は春の大祭の前日祭、一 新年の一番太鼓を永年奉仕下 直会をさ う合いになればと祈るものである。 令和五年四月二十六日

を診るとか。 早目の診察とした。医師もよく診断 四日は皮膚科、 となった。十九日、特別神事。二十 化膿止めも処方され一週間後に様子 状より、最初の軟膏とした。更には とかも検査とか。十三日、皮膚科と できぬごとのようで、薬をクリーム 三日は大祭を控えての清掃と、二十 るを決め、四月二十七日、一泊入院 ロリ菌とかも有り、内視鏡で切除す あったが、今日の結果では良性ポリ せをもって、 ものなしと、少し安堵す。内科はピ 内科健診にて、 ープが一つあるとのことでピロリ菌 二十五日は特別神事ニ 大祭受け入れの諸々の 大変状態悪化にての 企画部との打ち合わ 皮膚切除にては悪い を望むも体の状態、ご神意次第とは 劇を演じ、心明るく楽しんで頂きた いものと。私は二十九日の本祭参列

のかと。その一歩を今、大きく踏み 出している。今度こそはの思いでは のように変化させることができるも を設ける。ことに努めている。開教 坐かいての殿様商いのごとの姿がど かにかかっているが。これまで手胡 目らの心にどれほどの息吹きをなす 標をクリアしたいものと心に固めて ての活動を今にして事成しているの 以来の大神さまの大御心を拝し奉り 回示させて頂いた。教化布教の聖業 いる。教師等がどれほどに目醒め、 にありては、教報誌面に掲載のごと であるが、 一人が五人をみちびきて信仰の庭 本号は久しく私の一ヶ月の動勢を 九月末日の前期段階にて一段階日 余りにも情なきことであ

中国の習近平国家主席が、昨年二月 和平解決への仲介役として期待して の貿易を年々拡大していることから、 シアによる核の使用に反対の姿勢を を発揮している。友好関係にあるロ 外交関係を修復する等、外交に強み 要望により実現したという。習主席 のロシアの侵攻後初めてとなる電話 ウクライナのゼレンスキー大統領と 示しているという。一方でロシアと は三月にイランとサウジアラビアの 協議を行った。ウクライナ側からの ウクライナの問題では二十六日 いのか疑問ともされるが、よい話

教主 禮日公

_陣に献供され、斎主は宮司嗣親様海川山野の種々の神饌が、御本殿

和をもって祭典が斎行された。

儀が続いていたが、本年は多少の緩染拡大を鑑み制約を受けた中での祭た。これまで新型コロナウィルス感

りである大國神社例大祭が斎行され

され斎主嗣親様が昇殿なされた。世修祓の後、斎主一拝、御扉が開扉

がお仕えなされた。

界平和萬民幸福祈念詞を唱え祝詞を

奏上、コロナ災禍の早期収束、

ロシ

解決、トルコ・シリア地震被災地早 ア・ウクライナ間の戦争の即時和平

来資、玉串献納者と順に玉串奉奠が

拝をもって本祭は申し修められた。

立

に

向けて大和

の御

教えを天地に

満

た

ましょう

仰で笑

顔のこぼれるような家庭を築きましょう

金幣拝戴が行われた。



斎藤範夫先生、仙台市議会議員の幸士先生、仙台市議会議員の を頂いた。 員の菊地崇良先生よりご挨拶 じく宮城県議会議員の佐々木 祝電披露の後、結びの斎主

禮となった。

と花開き、

丁度満開の時期にての祭

神社境内にある桜も数日の間に次々

光景を呈してい という不思議な 境内に雪が舞う

禄喜寿

奉告祭

に例年になく桜の開花が早まり神変 今年は温暖な天候が続き、全国的

会議員の石川光次郎先生、同 哉先生、本教相談役宮城県議 の土井亨先生と同顧問相澤光

次に、本教顧問衆議院議員

ばを述べられた。 ご参列の方々への感謝のこと りについてのお話しがなされ、 祈りの大切さや感謝の心づく 嗣親様のご挨拶では、 続いて、祈祷殿内へと移動 、日々の

御神域の広大なる風景を鑑賞した。 桜と大市山の豊かな自然に包まれた に映し出され、満開の大市神山千本 の空中撮影映像がスクリーン 初めに大國神社春の景観



斎主嗣親様より御教話を頂く

大和歌劇団によるパフォーマンス



勇壮なる幻創太鼓演奏

神社において例年祭が斎行された。

四月九日午前九時三十分より神変

らく、 桜満開の 朝方は気温が

心教教

か母主

禄禄

の喜寿を

日

9

考ぎまし

t

斎主嗣親様による神変聖斧加持執行

長祭儀部次長が執行した。

由美教務部長が執行、

火祭は熊川知

を演じ祈祷殿内は笑いに包まれた。 仮装をした教団職員達が楽しく寸劇 める大和歌劇団の寸劇も演じられ、 とお囃子が奏でられ、 よる和太鼓が演奏され、 んは手を合わせられ、 み物が振る舞われた。 に皆聞き入っていた。 心にて、美味なる弁当とお赤飯、 田中道敏教化部次長が座長を務 美味なる弁当とお赤飯、飲今回の直会では教主様の御 有難く頂いた。 信奉者の皆さ 勿体なきこと 和太鼓演奏の 迫力ある演奏 勇壮な太鼓



された。斎主嗣親様に誘われ参列者に大祓詞、六根、十種神宝詞が奉誦 斧に両手を添え心願を込めて祈念申 人一人が大前へと進み、神変大石

り御教話を頂いた。 を以て修祭となり、 参列者玉串奉奠が行われ、 斎主玉串奉奠の後、教母様、総裁家 結びに嗣親様よ 斎主 一 拝

真心をお捧げ申し上げた。 前鬼後鬼大神様に日頃の神恩報賽の 多くの人が参列をされ、神変大神

祈りと感謝と奉仕の実践

神変御下駄一体ずつに祈念を申し上げる

の皆様が尊い汗を流され、 社において、 各地より参集下された心篤き信奉者 四月二十三日午前九時より大國神 春の清掃奉仕が行われ

進行され、

神変御下駄祈願は畠山真

儀の後、嗣親様が斎主となり儀式は

なった。

祭儀は修祓之

の頃には好天と

ح

3

大國神社

雪もやみ、

日様が顔を出し たが、やがてお

午前十時

(日)

で奉仕なされました皆様のお心にの感謝の誠を捧げられた。 感謝申し上げます



尊きご奉仕を下された方々

内横西海山丸 清掃奉仕者御芳名

満 良 七 子 宏幸 横山真由美 伊藤熊谷由美子 横山 熊谷由美子

本田和朗 内海 政良 本阿田部 雅國容政静子子子代江

順不同·敬称略

玉串拝礼の後、

の心をもって大和となすものです。

和 (にき) びの心・

き、午前十一時三十分より開教祈祷四月九日、神変神社例祭に引き続 式典が執り行われた。 殿において、 大和開教祭並びに記念

歌の奉称を以て神々をお称え申上げ 開教祭詞が厳かに奏上された。 斎主 お捧げ申し上げる祭儀である。 人國主大神様への神恩感謝の真心を 儀式は斎主嗣親様のもと、綾瓊神 本祭は親神大和皇大神様、



御教話を賜り、

弥栄祈念を以て閉式

御声を拝聴申し上げた。嗣親様より された。引き続き開祖様の御教えの よる感動に感極まる信仰体験が発表

となった。

嗣

もお仕えして頂きたいと思います。 教法人として此の世に誕生をみまし 月八日に文部省の認証を受けて、 え申し、大和教団は昭和三十二年三 神様の御別称・大物生大神様とお称 れておられます。私共は、大國主大 様の大御姿が映し出され、 胸を張り、勇気を持って、これから た。皆さんは誇りと自信をもって、 の御手には少彦名大神様がお祀りさ ました。スクリーンには大物生大神 (和というのは大國主大神様の大と 今日は開教祭という尊い日を頂き その右手

授与式後の記念撮影

玉串をお捧げ申し上げ、 なされ、総裁家、玉串献納者が順に 教母様が玉串を奉奠 祭儀は申し るものと思います。勇気を持って自 の発表を糧に更に信仰の高見に行け 難さを表した姿だと思います。今日 しょうか。自分に正直に信仰の有り 皆さん、今日の体験発表なされた

された。引き続き、本田瑛恵さんに 与された。また、合わせて教師階位さん、八巻宏美さん、各教師へと授 さんへ準教師職の階位證が夫々手渡 田瑛恵さんと八巻宏美さんに授与さ 敏教師へ任命證が交付された。 続い われ、嗣親様より畠山真由美教師、 授与式では本田瑛恵さんと八巻宏美 て新制神法教傳会初之段允可状が本 十三期の責任役員任命證授与式が行 了之證が熊谷由美子さん、本田瑛恵 儀式後の記念式典では、先ず第一 禁厭比禮神咒法及手掌神咒法修 熊川知長教師、田中道 仰者は先ず朝な夕なに祈る事です。 や紛争等、色々な境遇の人が地球上 が心をつくります。苦しんでいる人 で祈らせて頂くことです。その祈り 事の時だけではなく、毎日自分の家 世界の平和を祈らせて頂く、 界の平和を祈念串を以てお祈り下さ 悪い神様・御霊も皆離れていきます。 いとの御諭しを頂きました。 らの弱き姿をよく話してくれました。 には大勢居るのですから、大和の信 先程の開祖様の御教えの中で、世

毎日、 祭典行

大和の教信奉者 践致します 人善導の奉謝行を

の使命、生き方です。 平和萬民幸福を祈る事が大和の皆様 御神護を賜りましょう。 わせて頂きます。 浄財を積み上げて、 世の中の為に使 皆さんの真心、 そして世界



嗣親様より御教話を頂く

* を取ると、かみになります。 られています。かがみの真中の 行するという教えがあります。 共には祈りと感謝と奉仕を実践、 いきますか。先ず祈って、

る、と教えて下さっております。 祈りによって皆幸せになります。 思います。開祖様は朝な夕なに祈り もできます。祈れない人は居ないと さん理解して下さい。祈りは誰にで の世もあの世も生き通し幸せになれ の大きな力、エネルギーを頂けます。 なさいと申されました。この大宇宙 程尊く力を顕わすかと言うことを皆 岸の火として見ていますか。私たち どのように感じていますか。ただ対 は、先ず祈ることです。それがどれ しています。虐げられている人々、 ロシアがウクライナに侵攻を 皆さんは

るように習慣化すると、御神徳とし 自身の我(が)を取ることによって ものです。祈りは誰にでも出来るの ましょう。神拝詞は大神様そのもの 神となるのです。そのためにも祈り られています。かがみの真中の〝がには、また皆さんの神棚には鏡が祀 て形に表れて参ります。日本の神社 て頂きたいものと。生活の一部とな 続し、夫々の生活の中に一体化させ 頂いた命をどの様にこれから使って 此のまま神身様なのです。神様から 神身となるのです。皆さんは此の身 です。良い習慣にすると、皆さんは いう祈りを私たちは日々に励行する 共栄、皆が幸せになりますようにと す。そして国家の隆昌、世界の共存 ば、大和の信仰者とは言えないので 与えていくような人間にならなけれ大きな心で全てを許し、全てに力を 全ての人に愛を慈悲の心を表して、 この神紋の掲げている太陽の如く 行って継

> いますと感謝してみましょう。 シーツさんと、一つ一つに感謝を思 脳さん、目さん、鼻さん、耳さん、 心臓さん、五臓六腑さん、 をしてみましょう。朝目覚めて布団 いトホカミエミタメありがとうござ 口さん、体さん、血液さん、血管さ ら晩まで全てのものにいちいち感謝 の稽古をすることが大切です。 こざいますと、布団さん、枕さん、 ん、皮膚さん、毛さんにありがとう 体をなでさすりながら 頭さん、

いかを覚るものとなります。 ります。大和の信仰が如何に有り難 物に対してもそうです。行えば分か 物は光輝き働いて下さります。食べ ございますと感謝をいたしますと、 身となるという事です。ありがとう す。ものはものでない、全て自分自 心・魂であると教え諭されておりま 開教神大國主大神様は、ものとは

現して欲しいと思います。今日は皆 開祖様の笑顔を稽古し、まず家庭の さん有難う御座いました。 それを家族に、会社、学校で顕しま 祈り、感謝、奉仕を学ばせて頂きま 幸せを祈りましょう。 串を捧げもち、世界の平和と万民の を生み出す力、そして与える力を顕 しょう。大物生大神様の大きくもの 鏡を見てにこっと笑ってみて下さい 中で大和の笑顔を表すことです。朝 した。もう一つの大切な道として、 き徳を積みましょう。今日は大和の 日々日々に世界平和萬民幸福祈念 その祈りの大

大神様との 相双分祠所属 本田瑛恵 つ

をさせていただきますこと、 開教祭の記念式典に、信仰体験発表 本日は大和立教六十六年・大和 双分祠所属の本田瑛恵と申しま 心より

感謝申し上げます。

真由美先生に話をさせて頂くことが の生い立ちや、これ迄のことを全部 受け入れることができまして、自分 会って話をしたいと話していたこと 今から五年前です。苅宿幸子さんの を母から聞いて、その当時、人を受 なり始めた頃、真由美先生が、私と 此度は、準教師の資格を賜りました け入れることが出来なかった私です お導きで、母が相双分祠でお世話に ことの感謝も込めまして、信仰体験 についてお話をさせていただきます 私が神様と御縁を頂きましたのは、 人和教団にお世話になりまして なぜか、不思議と真由美先生を

地獄のような思いでした。 何で自分は人と違うのかと、何でこ ました。高校は通信制の高校に転入 のカウンセリングに通うようになり くなって高校を辞めました。その頃 同じようになりたいという思いでス から、人の目が怖くなってしまい、 われるのがひどくなり、耐えられな まい、高校に入ってからは、からか が、それが原因で髪が薄くなってし らかわれるようになり、それがいや 中学校になってからは、男の子にか んなに苦しまなければならないのか 校の頃まではまだよかったのですが、 で、高校に入る時に、まわりの人と 大然パーマをひどくした髪で、小学 へと関われなくなってしまい、 地元 レートパーマを何度か掛けました 私は、生まれつき、人とは違って 卒業をさせて頂きましたが、

の関りで、他の人との関わりは全く れていた思いがあります。真由美先 も寄り添っていてくれたので、救わ ありませんでした。でも、母がいつ 兄弟、カウンセリングの先生とだけ 神様と御縁を頂く前は、父と母、 「神様を信じて、

とおり、本当に温かい教主様でござ

す。真由美先生がおっしゃっていた

いました。

その後、一

泊二日の出羽三山登拝

お会いしました。教主様から温かいきまして、その時、初めて教主様に

最初に六月の禊祭に参行させて頂

お言葉をかけて頂きまして、心が温

かくなったのを今でも覚えておりま

秋の万燈慰霊祭では、神社で提灯を

祠で奉仕をさせて頂くようになり、 ております。三山登拝後から相双分 間の参行をさせて頂いて、

本当によ

某をかけて頂きまして、楽しい二日 からも、何度も温かい励ましのお言

かったと嬉しく帰ってきたのを覚え

でしたが、真由美先生がそばにいて

トさったということもあり、

嗣親様

で泊まるということは初めての経験

母と一緒に行動していたので、一人

に参行させて頂きました。

今まで、

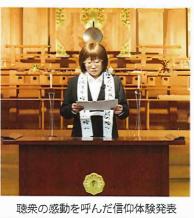
つける奉仕をさせて頂きました。

そんな私が、お陰様でこんなに早

一年後に結婚をさせて頂くこと

平成12年8月29日 第3種郵便物認可 第786号(4)

たお話をお聞きしまして、教主様に 増倍の幸せを頂けるから。」とのおれるから。」と。「今の苦しみの何がって生きていけば、必ず幸せにな お会いしてみたいと思いました。 数えきれない程、多くの人が救われ 生自身が救われたお話や、これまで、 て教主様に拝んで頂いて、 言葉を頂きまして、教主様にすがっ 、真由美先



りして御礼を申し上げさせて頂きま 真由美先生に、改めてこの場をお借 の大神様、開祖様、教主様、嗣親様、 た私が、大和の信仰をさせて頂きま くて、人と交わることができなかっ にも生まれ変わることができました。 したお陰様で、私の人生は、こんな 私をお救いして頂きました、大和 本当に有難うございました。

く奉仕や、 と存じます。 を通して、感謝を表してまいりたい じさせて頂きました。本当に有難う ましても、四回の神法教傳会に参加 本日賜りました準教師の位につき ございました。これからも、人を導 國神縁講に結ばせて頂きました時は、 させて頂きました。五人を導き、大 い方を教えて頂いて、真剣に努力を 生方から御教導を賜り、真由美先生 させて頂き、教主様、嗣親様始め先 本当に神様やご先祖様のお導きを感 には、何度も人の導き方やヌサの使 大國神社頒布所での奉仕

自宅でも、神様の仕事のご奉仕が出 す。本庁や各教会でも、あるいはご るためにおつくりになられた教団で います。大和教団は、開祖様を通じ で、助けてあげていただきたいと思 ただいて、多くの人を御神縁に結ん 皆様も、周りの人にお声をかけてい を戴いたと思っております。どうか れたと思っております。新しい人生団のおかげさまで、私は本当に救わ 開祖様の建ててくださった大和教 大國主大神様が世の人々を助け 皆様におかれましては

自分の人生を振り返り、 様でございます。大和の信仰をさせ て頂きましたお陰様でございます。 因縁解除を拝んで頂きましたお陰 結婚をさせ 諸々 なされて、たくさんの徳を積んで、 幸せになって頂きたいと思います。 積極的に神様のお仕事のお手伝いを

おめでとうございます。

」との祝意

若 名

中原龍一・祐美

名 き 光秋正峰正央き親良 靖み 一子夫生明子よ子子者久子勲仁

菅細本安 野川田附

丸早八高 岡川巻橋

清信菜君 文子祐子

をお二人に贈られた。

められた。続いて教主様は、「誠に鈴拝戴を以て婚儀は滞りなく申し修

ができましたのは、

とうございました。 謝申し上げます。本日は誠にありが お与え下さいました大神様、 結びになりますがこの発表の場を 嗣親様、 お導きに心より感

としかいいようがありません。また、

て頂くことができましたのは、奇蹟

神様と御縁を頂く前は、人の目が怖

+ 神前結婚之儀が厳かに斎行された。 属の本林勇太さんと及川美紅さんの て 二月三日桃の節句の佳き日、午前 斎主教主様のもと、相双分祠所 時より、大國神社祈祷殿におい



斎主教主様より新郎新婦へ神戒が授けられた

門出を祝してエールが贈られた。 祝宴では歌唱が披露され、

全員で大國舞を舞った後、嗣親様

よりお二人への祝辞が述べられた。

お二人の

お授けになられた。 修祓之儀を修めた後、 教主様は新郎新婦に『神誡』を 斎主教主様により祝詞が奏上さい放之儀を修めた後、饌が献せら

のです。

て頂きたいものと祈念申し上げるも

佐作小菅川加内石荒安相釼畑和熊本細田櫻窪阿苅島相藤間金野上賀馬川井達澤持中泉川林川淵井田部宿山双れ 澤 場 由 真分い由 文英 洋尚香栄敦友 知勇栄好哲秋勝博由子枝徹華子子久子之理子子里碧長太喜子夫子雄旭美祠

庄佐國黒川柏遠伊安阿相犬畑畑小本細星佐桑遠竹 子藤分田村木藤東附部澤飼中中野林川 々折藤村 いの 寺 純啓信雄正利さり由長哲廣優幸桂秀達啓早克美功 一善孝介則彦を子梨治也治成男子尚也義苗弘雪朗

笑顔のこぼれるような家庭を築

きお幸せを祈念申し上げた。

良喜となった。お二人の門出と末永

よる弥栄祈念にて、祝賀の宴はお披

結びに熊川知長祭儀部次長先達に

の言葉が述べられた。

束が贈呈され、新郎新婦からは御礼 と畠山真由美教師より新郎新婦へ花

れれ

し上げ、玉串拝礼を行った。 の言葉」を述べ合って後、誓詞を申 本最古の求婚の言の葉とされる「愛 神前へ進んでお互いに向き合い、 盆が行われ、参列者玉串奉奠、引き続き、新郎新婦固めの盃、 次に新郎新婦は、天之御柱を廻り 日 御親

族盃が行われ、

川上 賢

斎佐藤藤

秀利 政孝

浩菊 由雄

金参萬圓

大和コウケン株式会社

大國神社例大祭奉賛者御芳名

御礼を申し上げます皆様のおこころに感謝と

**************** 本林勇太さん 美紅さん 御結婚おめでとうございます

儀式後に祝賀直会が開かれた

土齋早紺金大工八増釼 佐藤坂野子平藤嶋澤持 あせ やつ政和弘良珠健 敦 子子美子子子美嗣一子

國阿窪高金見佐渡熊阿 分部田橋子澤藤部谷部 由 美光秋正峰正央き親良 子一子夫生明子よ子子

(五月八日迄分・敬称略・順不同) 畑中 幸田 中村 徳治

幸徳男治

金壱萬圓 金参萬圓 神恩感謝料奉納者御芳名

佐大藤内

6月15日

月次祭·神子祈願祭

大和地蔵慰霊祭

教丹様喜寿奉告祭教主様御誕生奉告祭

6 月月 11 10 日

親神感謝祭

6月5日 6月1日

6月

行事予定表

浩一

佐藤日出子

6月23日

御神像境内社御清之儀

還幸祭·神在祭

において祝賀の宴が開かれ、 記念撮影の後、参集殿レストラン 嗣親様 金伍阡圓 幣帛料奉納者御芳名

金壱萬圓 金汽萬圓 金壱拾萬贝 須田 公子 秋田

三庄相双分分分の 祠祠祠プ

奉献酒奉 納者御芳名

6月30日

金剛蔵王大権現年祭

夏越の大祓

六根修養会 古神札焼納祭

6月25日

夏越の大祓・鎮火祭祓禊祭本祭

6 月 24 日

開祖祭

祓禊祭前日祭

6 月 28 日

渡佐斎小菅川遠内池阿安三釼畑須酒本星高齊大竹苅島 辺藤藤金野上藤馬田部達陸持中田井田 田藤堀村宿山 澤 場 ひ き 良麻公 実英良正昭栄菊分 高公友瑛ろ隆美よ裕紗 雄衣志純樹莉子法三子雄祠満子子子恵み広香い子希英

7月 行事予定表

7月11日 7月5日 7月1日 親神感謝祭 月始祈願祭 神光龍神祭

佐桑遠竹苅庄 々折藤村宿内

三山登拝道中安全祈願祭

月次祭·神子祈願祭三山萬人講役員会

7月15日 **参詣登拝出立** 参詣登拝出立 大和地蔵慰霊祭

77777 月月月月 30292825 日日日 参詣登拝出立 六根修養会 開祖祭

お 知らせ

十四番へと変更されておりますル改正のため令和五年四月よりJR仙台駅前西口バスターミナ大國神社行市営バス乗場情報